

サステナブルな社会構築に必要な レジリエントな企業を目指して

株式会社新日本コンサルタントは1979年、社会資本整備への技術サービス提供を開始し、高度成長期を経て成長してまいりました。

近年、当社の主力事業ドメインである社会資本整備においては、公共施設の老朽化、グローバルウォーミングにより大型化、そして頻発する自然災害への対応等様々な課題に加え、効率的な社会資本整備に資するPPP、PFIによる公的事業推進の必要性等、急激な事業環境変化に見舞われています。また人口減少という我が国における構造的な社会問題がもたらすであろう地方企業への影響は、大都市圏に比較して、その顕在化までの時間やインパクトにおいても巨大なものになることが想定されます。

一方、デジタルサイエンス分野において大きな変革期を迎えています。未来社会のコンセプト、ソサエティ5.0(Society 5.0)において、IoT・ビッグデータ・人工知能・ロボット等を活用したサイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立することが提唱されています。このような社会情勢の変化は、いわば保守的である業態に対し事業存続において変化や革新を促すものであり、しかるに我々建設コンサルタントもICT技術を活用することにより、従来のドメインを超えた事業展開が求められています。



この状況を「危機」ととるか「機会」ととるか、この選択により従来の建設コンサルタントの経営は180度異なったものになるでしょう。新日本コンサルタントグループ(ニックスグループ)は「機会」を選択していますし、随分前から選択し続けてきましたし、これからも選択し続けることでしょう。従来の強みであるストックマネジメント、防災・減災、低炭素社会づくりのコンサルティング重点3事業分野への取組みを継続しつつ、そこに上述したAIやIoT技術を融合し、更には地域企業の強みを生かし、細やかな地域顧客へのサービスに特化したソリューションを提供します。次にアセット保有型事業として、引き続き国内外の水力電源開発に取り組み、地域の再生可能エネルギーの創出に取り組んでまいります。

代表取締役社長 市森 友明

ニックスグループ

